

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

米子工業高等専門学校点検・評価委員会

(責任者名) 山口利幸

(役職名) 校長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	本プログラムを構成する科目は全て必修科目で構成されているので、総合工学科(定員200名)に入学する学生は自動的に履修することになる。 日々の履修状況については、電子出席簿や定期試験毎の担任連絡表(出席状況や成績、日頃の様子などを知らせる報告書)を通じて科目担当者と担任の間で情報が共有され、指導に活かされている。 毎年度の進級認定会議で全学生の当該年度の単位取得状況、欠課時数を確認しているので、本プログラムの修得状況は全教員によって把握・共有されている。
学修成果	各科目の成績評価は、シラバスに掲載された到達目標・ルーブリック・評価方法に準じて行われている。年4回の定期試験後には、教務係によって成績評価一覧表が取りまとめられているが、これには科目ごとのクラス平均点が併記されており、学修成果の水準が保たれていることを確認している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	毎年、教務部が全科目を対象とした学生による授業評価アンケートを実施している。10の設問項目のうち、「授業の満足度」、「授業の難易度」、「授業の理解しやすさ」、「教科書・プリント類の適切さ」などから学生の理解度を分析している。このアンケート集計結果は学生・教職員に公開して共有しており、担当教員が授業の改善に向けた方策を立案している。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本プログラムは必修科目で構成されており、自動的に全員が履修する。よって、後輩等への履修を推奨するような活動は行っていないが、上記のように授業評価アンケートの集計結果やシラバスは公開されているので、本プログラムの教育内容は学生にも共有されるしくみとなっている。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラムを構成する授業科目は、総合工学科1、2及び4学年の必修科目で構成されており、全員が履修する。したがって、履修率は100%である。 総合工学科は令和3年度に開設しており、令和7年度には全学生(定員1000名)が履修しているプログラムとなる。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	令和7年度の時点で、本プログラムを修了した学生は卒業しておらず、本年度が最初の修了学生となる。卒業生の進路状況については、キャリア支援室が毎年の動向を把握・分析している。卒業生の状況や、進路先（企業・大学）の評価については、5年毎に総務部がアンケート調査を行っており、これらのしきみを活用して、本プログラムの有効性が検証できる体制を整えている。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本校では、毎年、地域の外部有識者や企業人から構成される評議員会を開催し、学校運営や教育の質保証・改善等に関わる外部評価や助言を受けている。また地域の企業215社（令和7年3月現在）が中心となって組織された「米子高専振興協力会」は年に数回交流会を開催しており、ここでも学校に対する様々な要望や意見を伺っている。これらの機会を活用して、本プログラムの教育内容の充実を図る体制が整えている。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	プログラム構成科目の数理・データサイエンスでは、データ活用実践として、鳥取県オープンデータポータルやe-Statなどの公的データベースから各自がデータを選び、それらの相関関係など統計的特徴を調べる演習を実践しており、世の中にありふれたデータから因果関係を予想することの難しさや意義について理解させている。これらの興味の喚起や理解の状況は、レポートと授業毎の進捗アンケートおよび教務部が実施する授業評価アンケートによって把握している。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	授業評価アンケートの設問のうち、「授業の満足度」、「授業の難易度」、「授業の理解しやすさ」の集計結果と、成績一覧、クラスの平均値、得点分布等のデータを担当教員で共有し、授業内容や授業方法の見直しを図る。また、総務部が主管するFD・SD活動である教員の相互授業参観制度を活用し、担当教員以外からの意見を聴取することで、多角的な授業改善を進める。